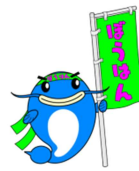


令和3年7月末の犯罪発生状況

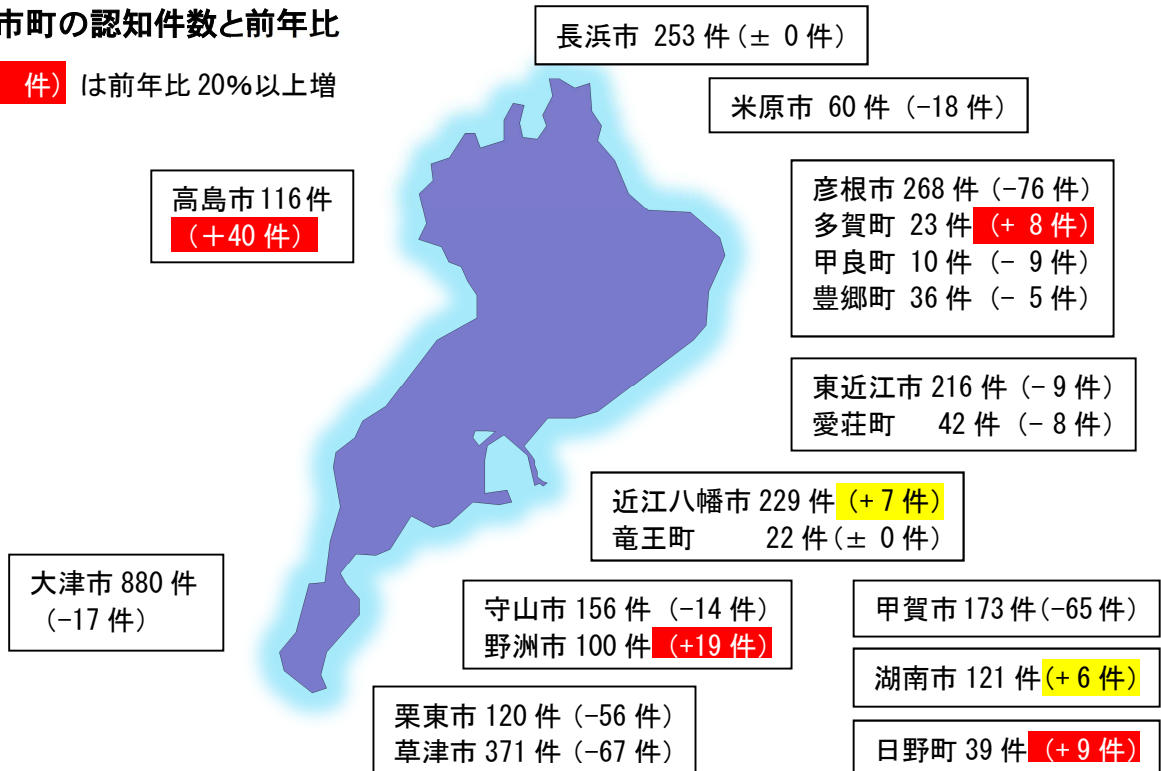


令和3年8月17日
(公社)滋賀県防犯協会

県内の刑法犯認知総数 3,255 件(前年比-246件 -7.0%)

● 各市町の認知件数と前年比

(+ 件) は前年比 20%以上増



多発犯罪(130件以上)

- ① 万引き 545件 (-73件)
- ② 自転車盗 492件 (-81件)
- ③ 器物損壊 345件 (-35件)
- ④ 詐欺 214件 (+ 2件)
- ⑤ 車上ねらい 151件 (-23件)
- ⑥ 置引き 130件 (+12件)
- ※ 侵入窃盗 246件 (+ 4件)
うち、居空き12件 (+ 4件)

犯罪率(人口1万人当たりの刑法犯認知件数)

全国平均「25.6件」 滋賀県「22.9件」 全国平均より高いのは

- ① 豊郷町:48.9件
- ② 多賀町:30.2件
- ③ 近江八幡市:27.9件
- ④ 草津市:27.5件
- ⑤ 大津市:25.6件

気になる犯罪(特殊詐欺)

1月～7月の発生は52件(前年比-7件)、被害総額は約7,489万円(前年比-約2,856万円)。高齢者(65歳以上)の被害は34件(約65%)、約5,707万円(約76%)となっています。

7月は「固定電話」による還付金詐欺3件、オレオレ詐欺1件、携帯電話の「メール」による架空料金請求詐欺2件、インターネット閲覧によるワンクリック詐欺(架空料金請求詐欺)2件が発生しています。

「だまし文句」としては、

- 固定電話に公的機関の職員を名乗り「保険料を払いすぎています。」等と電話がかかってきて、ATM迄誘導され、携帯電話で操作方法を指示され犯人の口座に振り込んでしまう(還付金詐欺)
- メールや電話で「有料サイトに登録されている。」「コンビニで電子マネーを購入して。」等と指示される(架空料金請求詐欺)があります。

お金を請求したり支援・借用したりする話は、すぐに警察に相談してください。

前年比・増加犯罪(増加件数順)

- ① 傷害・傷害致死 110件 (+28件)
- ② 暴行 126件 (+25件)
- ③ 強制わいせつ 38件 (+16件)
- ④ 置引き 130件 (+12件)
- ⑤ 倉庫荒し 35件 (+11件)
- ⑥ 自動販売機ねらい 26件 (+ 8件)
- 強制性交等 16件 (+ 8件)